

令和6年度 第2回川崎市社会教育委員会議日本民家園専門部会 会議次第

日 時 令和6年7月21日(日) 10時～12時

会 場 日本民家園 旧原家住宅2階大広間

1 開会

- ・園長挨拶
- ・会議成立の確認
- ・配布資料確認

2 報告事項

- (1) 民家園の近況について(来園者数、企画展・イベント)
- (2) 工事の状況について(耐震補強、屋根葺き替え等)
- (3) 緑化フェアについて

3 議事

- (1) 令和7年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シートについて

4 その他

- ・今後の予定
- 6年 11月 第3回部会 園内視察
- 7年 3月 第4回部会 令和6年度事業評価について

5 閉会

【配布物】

- ・川崎市立日本民家園概要(令和6年度版)
- ・令和7年度川崎市立日本民家園事業計画・評価シート
- ・川崎市立日本民家園運営基本方針
- ・民家園だより vol.100
- ・企画展図録「山と川の暮らし」
- ・民家園カレンダー 2024年7・8・9月号

川崎市立日本民家園概要（令和6年度版）

1 設置目的

急速に失われつつある古民家を復原保存し、後世に伝えるための野外博物館。

2 条例で定める事業内容

- (1) 古民家を移築し、復元し、及び保存すること。
- (2) 前号のほか、日本民族の伝統的生活文化に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- (3) 古民家その他の民家に関する資料に関する専門的、技術的調査研究を行なうこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会、展示会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 郷土芸能及び特殊習俗行事の公演を行なうこと。
- (6) 民家園資料に関する解説書、調査研究報告書等を刊行し、及び広報活動を行なうこと。
- (7) 学校その他の教育機関又は諸文化施設と協力し、その活動を援助すること。
- (8) 他の博物館と連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、民家園資料の相互貸借等を行なうこと。

3 施設概要

- (1) 開園 昭和42（1967）年4月1日 ※昭和51（1976）年8月5日博物館登録
- (2) 敷地面積 32,387㎡
- (3) 本館 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階
管理関係室 延床面積534.67㎡ 展示室 同233.14㎡
- (4) 展示古民家等 国指定重要文化財 7件
同 重要有形民俗文化財 1件
県指定重要文化財 10件
市指定重要歴史記念物 7件 計25件
- (5) 伝統工芸館 鉄筋・木造2階203㎡ 藍染め作業室 ミーティングルーム

4 管理運営方式

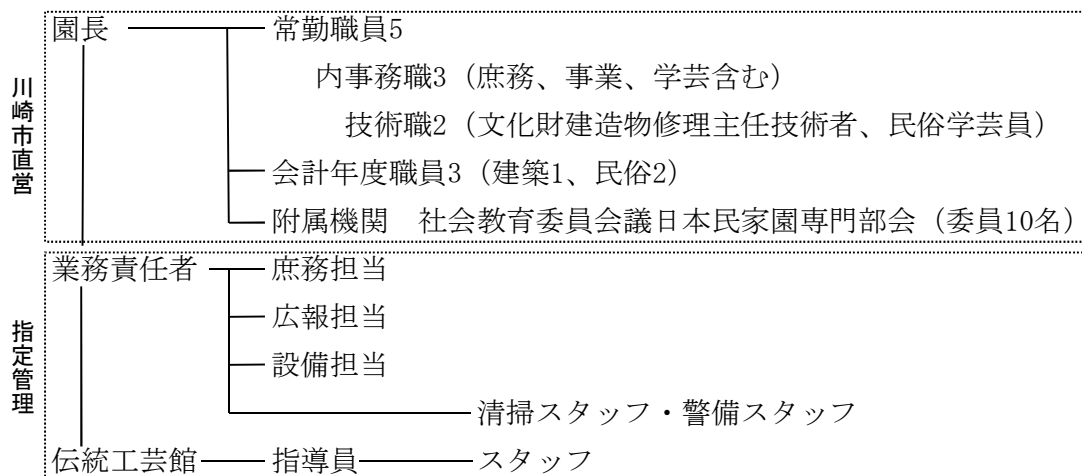
平成25年4月より一部指定管理（今年度は第3期2年目〔指定管理期間5年〕）

学芸・統括業務／川崎市直営

管理運営業務 ／指定管理 生田緑地共同事業体

※日比谷花壇・日比谷アメニス・東急プロパティマネジメントの3企業で構成

5 組織



日本民家園ボランティア「炉端の会」 178人（2024.4現在）

6 入園者数

115,373人（内外国人9,669人）※令和5年度実績

7 その他

日本民家園公式サイト (<https://www.nihonminkaen.jp>) で園概要・行事案内をご覧ください。

令和7年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シート

- 評価
- つぎの3段階とする。
- A: 目標を上回って達成している
- B: 目標を概ね達成している
- C: 目標を達成しておらず改善が必要である

- 令和7年度の重点目標
- ・園内の安全対策の推進
 - ・園内・古民家内の展示整備
 - ・運営基本方針に基づいた事業運営

項目	令和7年度目標値	令和7年度実績	令和6年度実績値	令和5年度実績値
総入園者数	138,000人			115,373人
有料入園者数(有料率)	55,200人(40%)			45,281人(39.2%)
外国人入園者数	10,000人			9,669人
総入園料収入	23,551,000円			19,800,310円
WEBサイトアクセス数(英語版)	635,000件 (43,000件)			618,193件(42,348)
来園学校数	160校			166校
伝統工芸館藍染体験参加者数(伝統工芸館事業収入)	1,800人 (6,000,000円)			1,990人 (6,677,001円)

1 伝える博物館

(1) 文化財の保存・調査・研究の推進

令和7年度

現状：25件の文化財建造物を移築復原し、長期計画を立てて補修工事を実施している他、日常的な維持管理業務として燻煙と清掃を行っている。資料の整理・研究活動については、建築分野では大岡實博士文庫の保管状況を改善しながら資料整理を進めるとともに、耐震補強工事報告書の刊行を進めている。民俗分野では引き続き暮らしと家をテーマに調査を実施、報告書の刊行を進めている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1文化財建造物の継続的維持の推進 (運営方針(1)－ア－(ア))	屋根修理等工事(北村家・野原家完成まで・工藤家一部完成まで) 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時)	北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸屋根修理工事(2年計画2年目) 野原家屋根修理工事(2年計画1年目) 小破修繕		作田家屋根修理工事(完成まで) 北村家・船頭小屋・小泉家便所・佐々木家井戸屋根修理工事(2年計画1年目)	
2資料の収集・保存及び資料保存環境の向上 (運営方針(1)－ア－(イ)(ウ))	旧所有者及び旧所在地の民俗資料、民家に関わる建築関係資料の収集と保存 本館地下収蔵庫の燻蒸実施(2年に1回) 定期的なシロアリ防除、害獣駆除 文化財建造物周辺樹木の剪定・伐採 文化財建造物内の燻煙、清掃	シロアリ防除、害獣駆除 文化財建造物周辺樹木の剪定・伐採 文化財建造物内の燻煙、清掃		本館地下収蔵庫の燻蒸実施	
3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表 (運営方針(1)－イ－(ア)(イ)(ウ))	民俗資料の整理推進 大岡實博士文庫の資料整理 耐震工事報告書作成 「暮らしと家」調査(報告書2年に1冊刊行) 研究者・研究機関への資料提供	山田家保管資料の整理(段ボールからテンバコへ移し替え) 大岡博士文庫(写真資料)のデジタル化保存 耐震工事報告書編集(作田家) 「暮らしと家」調査(完成)		江向家保管資料(カードと現物つき合わせ、段ボールからテンバコへ移し替え) 山下家、太田家耐震工事報告書(原稿編集まで) 「暮らしと家」調査(調査実施まで)	

(2) 日本の伝統文化を伝えるための展示・教育普及の充実

現状：文化財建造物を野外展示し、それを補うため本館に展示室を設置している。各古民家では地域の民具や年中行事の展示を行っている他、囲炉裏での火焚きや生活用具の製作風景、さらには屋根の葺替えや耐震補強等の工事も展示の一環としてとらえ、作業風景を見せる工夫をしている。本館常設展示室では導入として日本の民家建築の基本を展示し、企画展示室では民俗や建築をテーマに年2回企画展を開催している。学校との連携を深め、小学生の学習プログラムや中学生の職業体験の受け入れを行っている。また、敷地内も展示として整備を進め、石造物を配置している。展示には解説に英文を併記している他、12カ国語パンフレットや4カ国語音声ガイド(日英中韓)を導入し、外国人対応にも力を入れている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1体感、体験を重視した展示・教育普及活動の充実 (運営方針(1)ーウー(ア)(イ))	音声ガイドサービスの継続 園内展示整備(継続的美化、パネルのビジュアル化) 古民家解説の充実(古民家めぐり年24回、子供向けの定例化) 体感を重視したさわれる民家解説開催 大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置) 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス 民家博物館としての特性を活かした企画展示開催(年2本) 一般の人が手に取りやすい解説図録の刊行(年2冊) 企画展展示解説(会期中月1回)やワークショップの開催 外国人向けの展示への対応	音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し) 園内の展示点検(継続) 民家解説実施(24回) 子ども向け民家解説実施(2回) さわれる民家解説開催 工事解説パネル設置(井岡) 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(船越の舞台等) 園内民俗解説パネルの補修(5点以上) 新企画展2本開催 企画展における展示解説(一般向け10回、子供向け2回)、さわれる展示の設置、ワークショップの開催、解説パネルの英訳シート作成(各企画展)、終了後の資料整理 体験講座の実施 子ども向け民家体験の実施 民家内での昔ばなし講演 夜間公開 伝統工芸館での藍染講座の実施		音声ガイドサービスの継続(二次元コード、タブレット貸し出し) 園内の展示点検(継続) 民家解説実施(24回) 子供向け民家解説実施(2回) さわれる民家解説開催に向けた準備(試行まで) 工事解説パネル設置(作田、伊藤、園路) 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画視聴サービス(合掌造り2層3層) 園内民俗解説パネルの補修(5点以上)	
2学校教育のニーズに合わせたプログラムの充実 (運営方針(1)ーウー(ウ))	学校団体の体験・見学受入(年間150校) 学習教材の継続的な見直し 職業体験・総合学習等のプログラム受入 学校郷土資料室等整備支援(メンテナンスの実施)	小学校向け体験プログラム・見学の受入(150校) 中学校の職場体験受入 ギガ端末の活用(学習資料、教員向け説明資料の配信) 学校郷土資料室等整備支援(1校)		小学校向け体験プログラム・見学の受入(150校) 中学校の職場体験受入 ギガ端末の活用(児童向け事前学習資料、教員向け説明資料の配信) 博物館実習、実測実習等大学の利用受入 学校郷土資料室等整備支援(1校)	
評定意見					

2 安全・安心な博物館

(1) 利用者と文化財建造物を守るための対策の推進

現状： 消防設備・防犯設備の機器更新、耐震補強工事が進行中である。来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。危機管理については各種防災訓練を実施、危機管理マニュアルを随時更新している。					
実施目標	中期目標(3年、R9まで) (目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1 耐震対策の推進 (運営方針(2)－ア－(ア))	耐震工事(江向家) 既存設備(防災・三澤免震)定期点検・補修(各年1回)	耐震設計(江向家) 井岡家耐震工事(2年計画2年目) 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回) 三澤家免震装置点検(1回)		作田家耐震工事(完成まで) 井岡家耐震工事(2年計画1年目) 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回) 三澤家免震装置点検(1回)	
2防火体制及び豪雨対策、排水整備の強化等による防災対策の推進 (運営方針(2)－ア－(イ)(ウ))	総合防災システムの点検と更新 老朽化した電気設備の更新 電気火災予防のための点検 園路危険個所の定期的な点検 危機管理マニュアルの継続的更新 消防署との連携による防災訓練の実施(年4回) 園路整備工事	総合防災システムの点検と更新 山田家・水車小屋他電気設備改修工事(2年計画1年目) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回) 園路危険個所、落枝・倒木の継続的な点検と対応(通年) 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの読み合わせ ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回)		園路危険箇所、落枝・倒木の継続的な点検と対応(通年) 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの読み合わせ ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回) 山田家・水車小屋他電気設備改修工事設計(完了まで)	

(2) 野外博物館としての園内整備、植栽・植生管理の推進

現状： 民家の旧所在地に合わせた植栽や、景観にふさわしい案内板の設置を行っている。来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。バリアフリー化として古民家の敷居にスロープを用意、園路についても手すりの設置や土舗装化など対応を進めている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1園内整備の推進 (運営方針(2)ーイー(ア)(イ)(ウ))	景観に配慮した園路の整備 休憩スペースの充実とメンテナンス 様々な来園者に配慮したハード面、ソフト面での環境の整備(バリアフリー、外国人対応) 電気系統の定期的な点検 来園者の避難経路の再確認 施設の長寿命化に向けた修繕	日陰で座って休める場所の増設、園路の日陰箇所の案内 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応 伝統工芸館空調設備の改善 受変電設備や古民家内コンセント等の点検			
2植栽・植生管理の推進 (運営方針(2)ーウー(ア)(イ)(ウ))	生田緑地植生管理計画に合わせた古民家周囲の植込みや畑の整備 文化財周辺環境の改善(支障木管理等) 観光資源としての花木の植栽	展示環境維持のための除草(継続) 文化財周辺環境の改善(支障木管理等) ボランティア団体と連携した畑の整備 花木の管理		展示環境維持のための除草(継続) 100周年記念植樹	
評定意見					

3 人の中心にある博物館

(1)指定管理者やボランティア及び地域等と協働した運営の推進

現状：平成25年度より指定管理者制度を導入し(5年毎に更新)、学芸業務と全体の統括業務は川崎市が、管理運営業務と広報業務を指定管理者が担っている。市の職員、指定管理者の職員、いずれもが資質向上のため各種研修に積極的に参加し、来園者の満足度向上を目標にリピーター確保のための工夫を重ねている。また、民家園の運営を支える炉端の会(ボランティア)・民具製作技術保存会(市民活動団体)と協力者会議を開催し、事業運営の改善を進めている。さらに、指定管理者は伝統工芸館や古民家カフェの運営を行っている他、体験講座・ワークショップや子どもや親子向け行事、当日参加型の行事など様々な自主事業を行っている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1市と指定管理者との連携による運営 (運営方針3-ア-ア)	自主事業(自由参加型・体験型事業)の充実(年5回以上) 本藍の継続的使用のためのスタッフの技術向上(研修継続) 藍染の魅力の情報発信 古民家カフェの運営(継続) 民家園の特色を活かした継続的な商品の開発(毎年2点) 博物館法の一部改正による登録博物館の再登録 円滑な移行に向けた次期指定管理者の募集及び選定	指定管理者による各種自主事業の実施 出張ワークショップや物販の実施 民家園の特色を活かした新商品の開発(5点) 券売キャッシュレス決済導入後の検証 ショップ商品表示の日英併記化(継続) 他団体と共に民家園・伝統工芸館を組み込んだ企画構成を検討 伝統工芸館を活用した藍染の魅力発信			
2ボランティア、市民活動団体、生田緑地マネジメント会議との協働 (運営方針3-ア-イ)(ウ)	伝統芸能公演の実施(年1回) 市民団体との連携による昔話公演(年25回) 炉端の会、民技会との連携の強化 両者との協力者会議による運営改善(年1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理保全会議との連携(年7回会議出席)	伝統芸能公演の開催(年1回、人形浄瑠璃) 昔話公演(年25回) 協力者会議開催(年1回) 炉端の会との協働(各種行事での協働、チーム活動の活性化支援、外部講師招聘を含む学習会の実施) 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議への出席・意見聴取(5回)			

(2)多様な主体との事業連携

現状：七夕や月見など科学館と連携した事業を実施している。施設の特長を活かし、古民家の旧所在地と連携した事業として各地の芸能公演や物産展などを行っている。博物館実習や実測実習等により大学との連携し回り、将来的な文化財の維持管理に役立てている。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1生田緑地各施設及び文化財建造物旧所在地との連携 (運営方針3-イ-ア)(イ))	生田緑地他館等との連携事業の充実 (年2回) 新たなミュージアム関連事業の検討 旧所在地交流事業の実施(年1回以上)	科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(南砺市)			
2大学、建築団体、研究機関との連携 (運営方針3-イ-ウ))	多摩区ゆかりの大学との連携 建築系学部を持つ大学、地域の建設業 組合や伝統建築の技能団体等と連携した 実習、実技講習の受入 文化財保存や防災に関する研究協力	博物館実習、実測実習等大学の利用受入			

(3)広報の強化

現状： 公式サイトの内容の充実を図っているほか、Xによる配信を開館日は原則、毎日実施している。外国人の来園者が増加していることから、公式サイトの英語版による案内や、羽田空港に外国人向けのリーフレットを用意するなどの広報に取り組んでいる。

実施目標	中期目標(3年、R9まで)(目標水準)	令和7年度計画(目標水準)	令和7年度実績	【参考】令和6年度計画(目標水準)	評価
1観光拠点化に向けた広報 (運営方針3-ウ-ア))	公式サイトの充実 X・YouTubeを活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・地元 商店会・神奈川県等と連携した広報 指定管理者構成企業のルート等を活用 した広報の充実 指定管理者変更になった場合の公式サ イトの円滑な移行 訪日外国人に向けた広報 企画展広報の充実	X・YouTubeの継続的な広報活用 Xフォロワー数の増加 来園者によるSNS等発信の促進 生田緑地各施設と連携した広報の実施 催事等における様々なメディアを利用し た広報		Twitter・YouTubeの継続的な広報活用 Twitterフォロワー数の増加(計3500人 [6/23現在3017人]) 来園者によるSNS等発信の促進 指定管理者構成企業のルート等を活用 した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・神奈 川県等と連携した外国人向けを含めた 広報 催事等リリースの作成と発送の充実 近隣駅へのポスター掲出、チラシ配架 の強化	
2伝統的建築技術や持続可能な 暮らしについての情報発信 (運営方針3-ウ-イ)(ウ))	伝統的建築技術及び持続可能な暮らし についての情報発信 保存対策や防災対策の情報発信	公式サイトを活用した情報発信 博物館協会等を利用した研修参加及び 情報発信			
評定意見					